

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
年額8,800円(税送料込)

あしたを、
ちがう
「まいにち」に。
TOTO

給水配管の性能評価

3条件の試験で耐震性を確認

公益財団法人給水工事技術振興財団(岡澤和好理事長)は4月18日、新たにまとめた「給水管分岐部に係る給水配管の耐震性評価報告書」をホームページで公開した。国内で数多く採用され、耐震性を備えていると言われているサドル付き分水栓、給水管、継手の組み合わせを選定し、3条件に基づき耐震試験や性能評価を行った。その結果、部分的な変形はあっても給水性能に影響はなく、継続して使用することが可能であることを確認した。

給水工事財団が報告書公開

東日本大震災や熊本地震など全国で多発している大地震で給水配管に多くの被害が生じており、断水などの要因のひとつとなっている。大地震に際しても安定給水を維持・確保できるように給水装置を含む水道施設全体の耐震性の向上が求められている。



岡澤理事長

しかし「水道施設耐震工法指針」(2009)ではレベル2地震動に対する給水装置の耐震性の考え方が明確に定められておらず、給水装置の耐震化については各水道事業体の自主的な判断に委ねられている。また各水道事業体が給水装置の耐震性を判断する際の資料

配管支持金具

同財団は給水システム協会との令和3年度共同研究としてダクタイル鋳鉄製の配水管から分岐する際に使用されるサドル付き分水栓A型・J型・W型(給水システム協会規格)継手・止水栓用+水道用ポリエチレン1種二層管(生曲げ配管)、条件2はJW Wステンレス製サドル付き分水栓A型・J型・W型(給水システム協会規格)継手・止水栓用+水道用ポリエチレン1種二層管(生曲げ配管)、条件3はJW Wステンレス製サドル付き分水栓A型・J型・W型(給水システム協会規格)継手・止水栓用+水道用ポリエチレン1種二層管(生曲げ配管)の耐震性を評価した。結果、3条件にそれぞれ対応する耐震性を確認した。

株式会社 アカモ
配管支持金具の
本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表) 営業本部 ☎03-3552-7091(代 表)
本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

再エネ設備の主力電源化へ

関係4省 地域と共生する事業を推進

環境省、経済産業省、



山地委員長

農林水産省、国土交通省の4省は4月21日、第1回「再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会」(委員長・山地憲治地球環境産産技術研

究機構理事長・研究所長)をオンライン開催し、脱炭素社会の着実な実現に向けて太陽光発電設備など再生可能エネルギーの主力電源化を推進し、環境などに配慮しながら地域と共生する導入を拡大をめざす。温室効果ガスの排出を削減する2050年カーボンニュートラルの実現や地球温暖化対策計画における2030年

度温室効果ガス排出削減目標の達成に向けて再生可能エネルギーの導入を拡大し、主力電源化を進めていくことが重要な課題となっている。しかしその一方で再生可能エネルギー事業の拡大による問題も浮上している。地域住民とのコミュニケーション不足や森林伐採・土地開発に伴う災害・環境への影響、廃棄物の不

法投棄などに対する懸念が全国的に広がっている。一部の事業では地域トラブルも発生しているのが実情だ。

こうした状況を踏まえ、関係4省は再生可能エネルギー発電設備の適正な導入・管理のあり方について幅広く議論するため、学識者や研究機関、地方公共団体などで構成する同検討会を共同

具体的には土地開発前、土地開発後、運転開始後、運転中、廃止・廃棄などの各段階に応じて適切な対応を検討し、再生可能エネルギー発電設備に対する国民の信頼を高めていく方針だ。

今回の耐震試験結果、性能評価を踏まえ、同財団は耐震性の高い配水管から分岐する給水配管は配水管と同等の耐震性の高い給水配管に更新することが望ましいと指摘。同時に耐震性の高くない配水管から分岐する給水配管は耐震性の高い配水管への更新に併せて耐震性の高い給水配管に更新することが望まれると積極的な更新を呼びかけている。

3条件による耐震試験結果をみると、いずれの条件でもサドル付き分水栓のずれは生じなかった。また給水管の変形や分水栓ねじ込み部の回転などの部分的変形は生じたものの、給水性能に影響はなく継続して使用することが可能であることを確認することができた。これらの試験結果から3条件の給水配管については水道施設耐震工法指針で示されたレベル2地震動に対して耐震性能2に該当すると明確に評価している。

高効率を追求するテラル

テラルの新コンセプト「Triple e」による

キャビネット型加圧給水ポンプユニット

推定末端圧力一定
給水ポンプユニット

CXV型



27%**省スペース**

27%ダウン
(当社比)

静音

省電力

優れた施工性

●屋外設置可能 ●充実の標準装備 ●低振動 ●安心・安全機能

テラル株式会社
www.teral.net

本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など
全国9支店、
47営業所

TERAL



Triple eシリーズ